



栃木県の経済情勢報告

令和7年11月6日

財務省関東財務局
宇都宮財務事務所

お問い合わせ先
宇都宮財務事務所 財務課
電話番号 028-346-6301 (直通)

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項 目	前回（7 年 7 月判断）	今回（7 年 10 月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	→

（注）7 年 10 月判断は、前回 7 年 7 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項 目	前回（7 年 7 月判断）	今回（7 年 10 月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
生産活動	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	→
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
設備投資	7 年度は増加見込みとなっている	7 年度は増加見込みとなっている	→
企業収益	7 年度は減益見込みとなっている	7 年度は減益見込みとなっている	→
企業の景況感	「下降」超となっている	「下降」超となっている	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	→
公共事業	前年を上回っている	前年を下回っている	↘

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額、家電大型専門店販売額、ホームセンター販売額は前年を上回っている。乗用車新車登録届出台数は前年を下回っている。また、宿泊や飲食サービスについては緩やかに回復しつつある。このように、個人消費は緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- ラグジュアリーブランド等の高額商品が好調であることから客単価が上昇しており、夏休みイベントによる来店者数の増加も伴って売上高が増加した。(百貨店・スーパー)
- 販売価格の引上げ幅が飲食業等と比較すると小さく、米や卵等の生活必需品に対する買上げ点数の減少や客離れも見受けられなかったことから、売上高の増加につながった。(百貨店・スーパー)
- 各種クーポンの実施やメディアへ取上げられたことが来店動機につながっており、ついで買いをする消費者も増えていることから売上高も増加した。(コンビニエンスストア)
- 酒類、化粧品、日用品のほか、自社商品では食品を中心に低価格帯商品が好調。(ドラッグストア)
- 既存OSのサポート終了に伴いPCの買換え需要が高まっているが、消費者は価格を重視して商品を選ぶ傾向があり低価格帯商品が好調。(家電量販店)
- お盆の時期でもあり仏壇等へ供える生花が好調だったが、定期的に購入する消費者も見受けられており、園芸関連の売行きが良い。(ホームセンター)
- 消費者の需要の衰えは見られないものの、メーカーにおける生産状況や国内・海外の割振り等から国内ディーラーへの配車が減少しており、売上台数は前年比でマイナスとなった。(自動車販売)
- 地元企業や人気VTuberとのコラボ企画のほか、季節物のサイドメニューに力を入れることで、来店客数の増加につながった。(飲食サービス)
- ファミリー層の取込みのため、一定の年齢以下の子どもに対する宿泊料金無料キャンペーンを継続しており、客単価は低下したものの売上げ自体の伸びにつながった。(宿泊)

■ 生産活動 「横ばいの状況にある」

鉱工業生産指数を業種別にみると、化学が上昇している一方、輸送機械、電気機械等が低下しているなど、横ばいの状況にある。

- 主力車種は生産量を増やしたが、全体としては販売台数に落ち込みがみられるため生産調整を実施した。(輸送機械)
- 消費者の高齢化や製品の性能向上等により、買換え需要が減少傾向にあることから減産となっている。(電気機械)

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率、新規求人数ともに底堅く推移しており、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

- 大卒者は本社採用で各工場に配置、高卒者はエリア採用として各工場採用を行っており、可能な限り職員の希望に沿った人員配置を行っている。(製造)
- 非正規職員は比較的負担感の少ない業種への応募が多いため、生鮮業等の人手が集まりにくい業種については給与を上げ賃金格差をつけることで、応募者数の増加に努めている。(小売)
- 選考スピードを早めるほか、従業員による友人・知人の紹介制度の活用、65歳以上の従業員の賃金見直し等によって、人材の確保に努めている。(建設)

■ 設備投資 「7年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」7年7～9月期

- 7年度の設備投資計画額をみると、製造業では前年比14.7%の増加見込み、非製造業では同35.5%の増加見込みとなっており、全産業では同19.1%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「7年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」7年7～9月期

- 7年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比28.1%の減益見込み、非製造業では同4.2%の増益見込みとなっており、全体では同20.4%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」7年7～9月期

- 企業の景況判断BSIを現状判断についてみると、全規模・全産業で「下降」超となっている。なお、先行きについて、全規模・全産業でみると、7年10～12月期は「下降」超で推移する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、分譲住宅は前年を上回っているが、貸家、持家は前年を下回っており、全体としては前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年を下回っている」

- 前払金保証請負金額をみると、国は前年を上回っているが、県、市町は前年を下回っており、全体としては前年を下回っている。

■ 企業倒産 「倒産件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回っている」



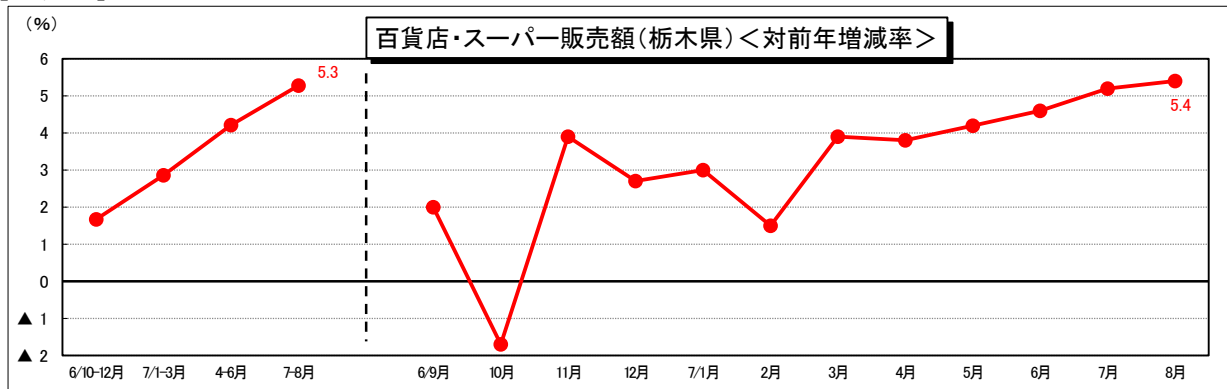
栃木県の経済情勢報告

資 料 編

1. 個人消費

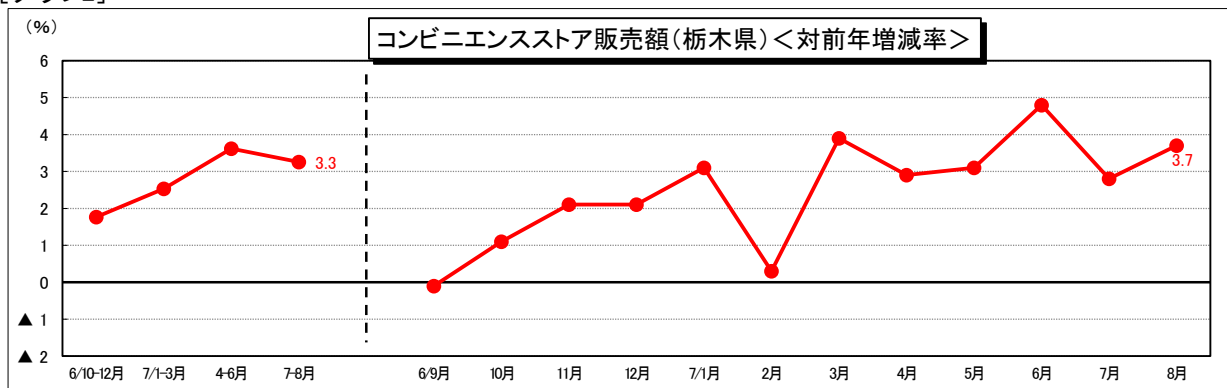
緩やかに回復しつつある

[グラフ1]



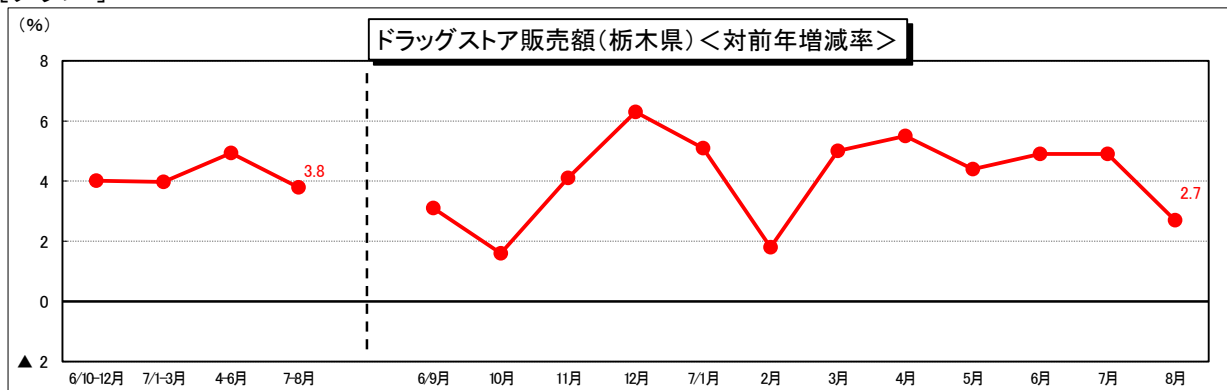
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ2]



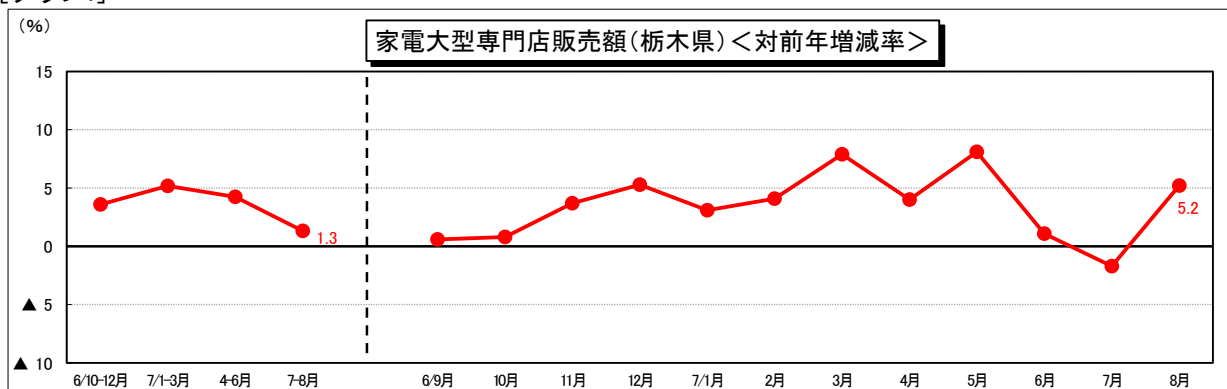
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ3]



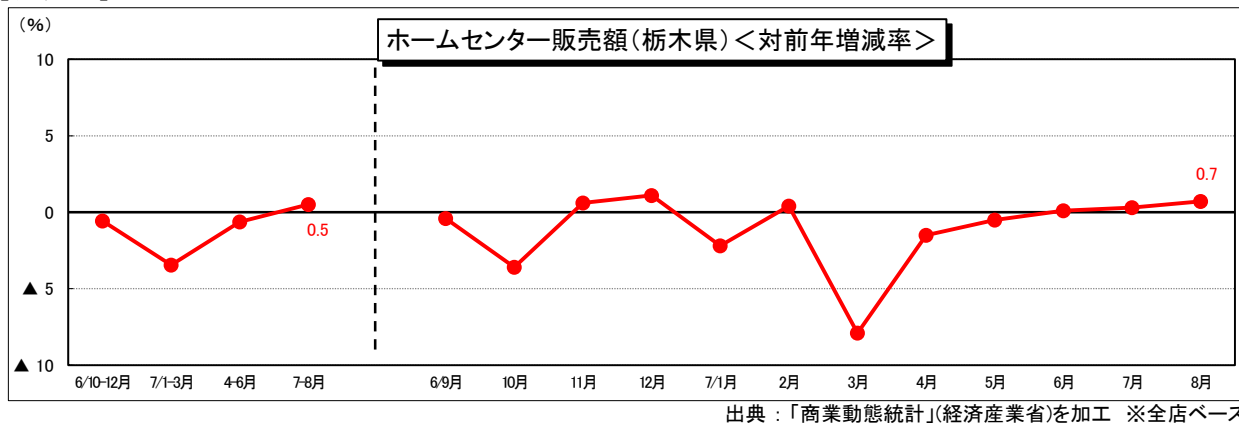
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ4]

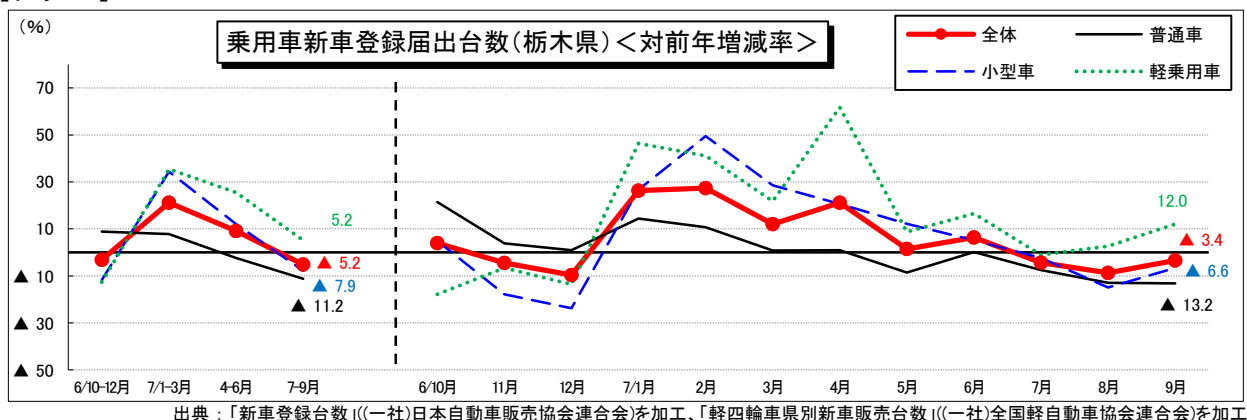


出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ5]



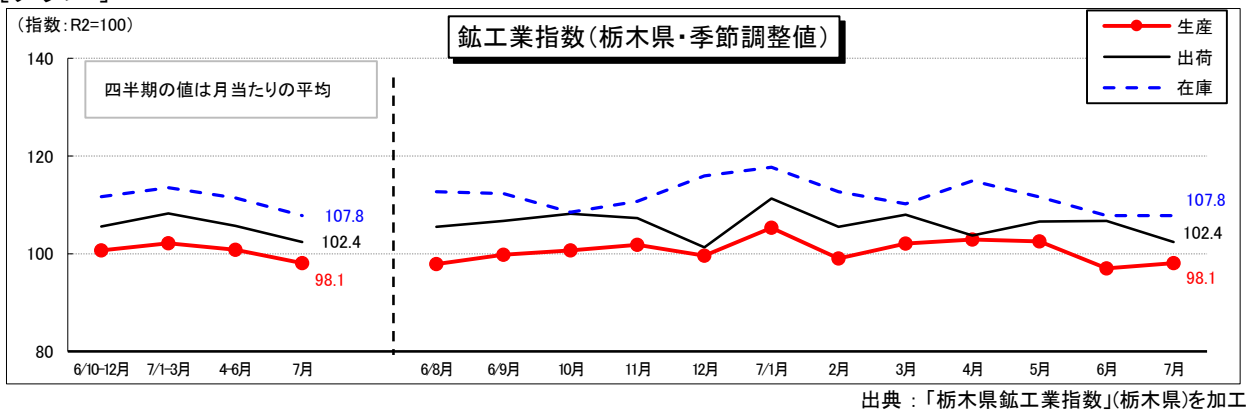
[グラフ6]



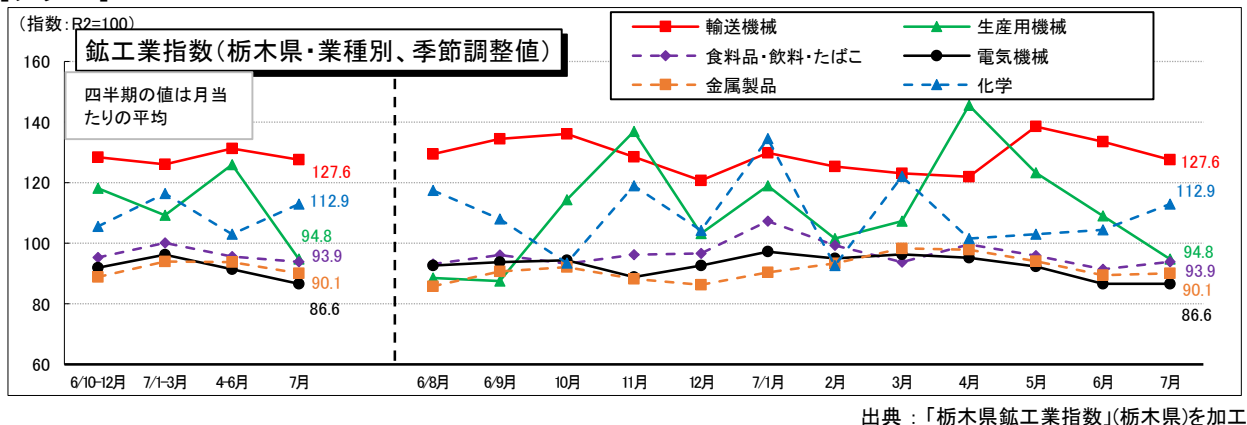
2. 生産活動

横ばいの状況にある

[グラフ7]



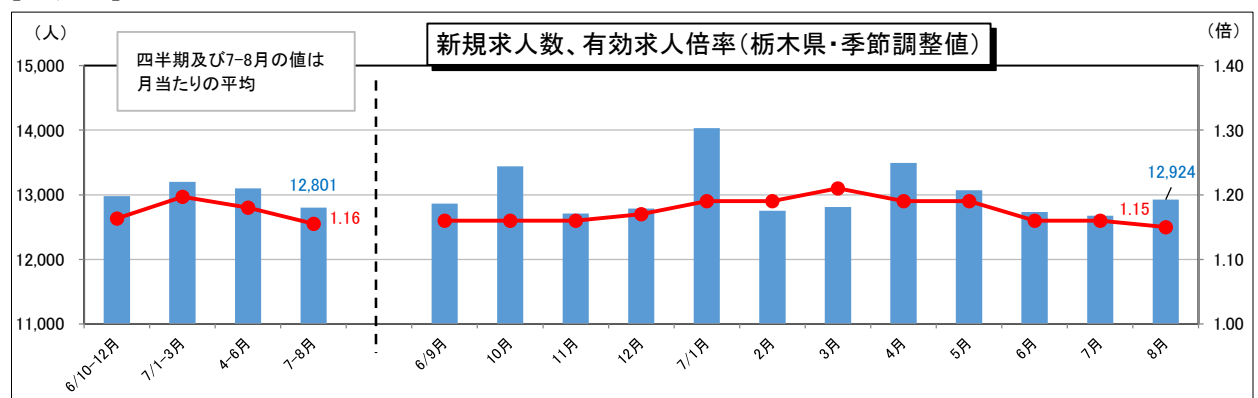
[グラフ8]



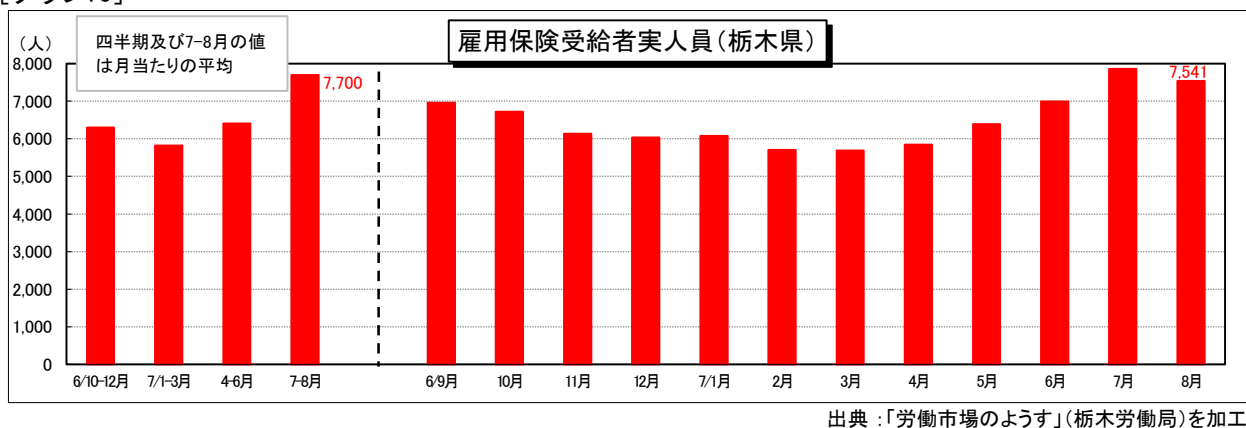
3. 雇用情勢

緩やかに持ち直している

[グラフ9]



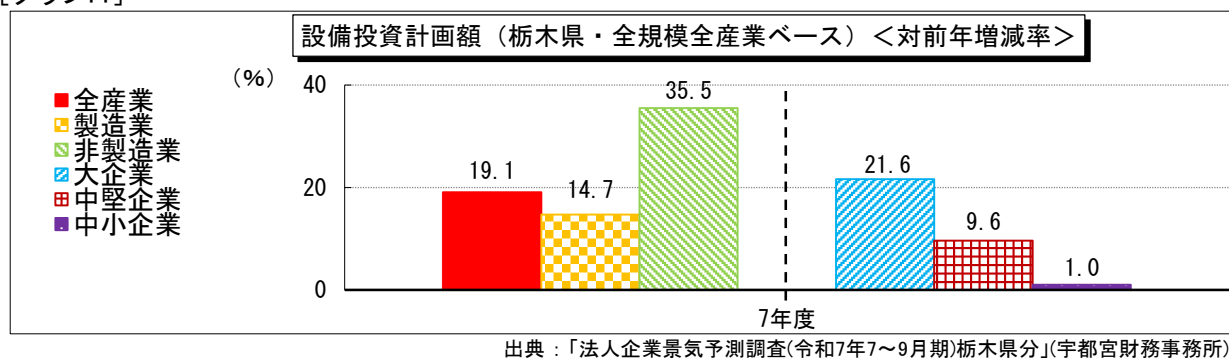
[グラフ10]



4. 設備投資

7年度は増加見込みとなっている

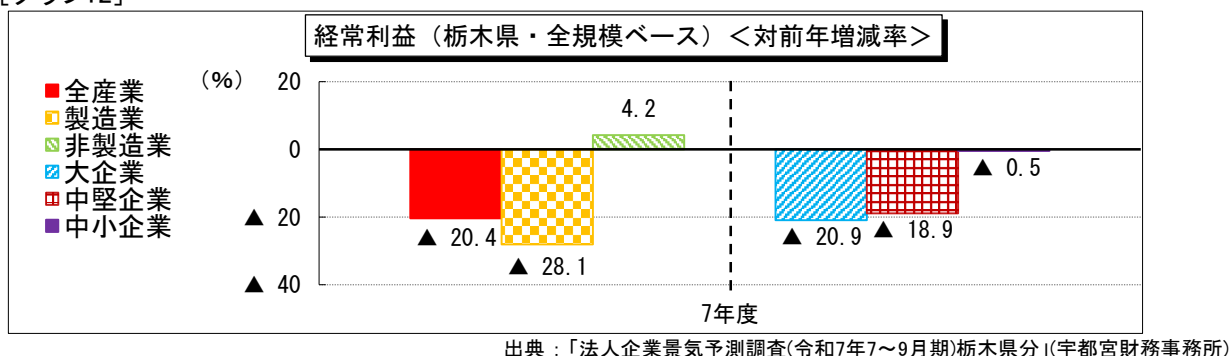
[グラフ11]



5. 企業収益

7年度は減益見込みとなっている

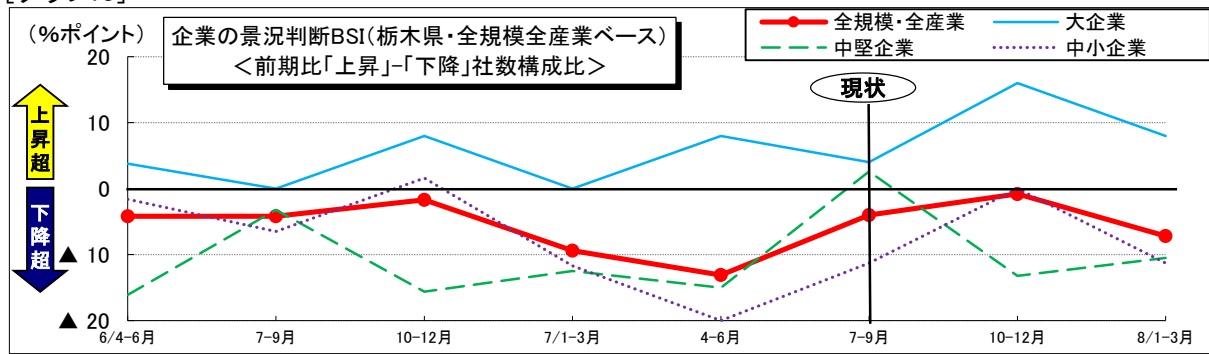
[グラフ12]



6. 企業の景況感

「下降」超となっている

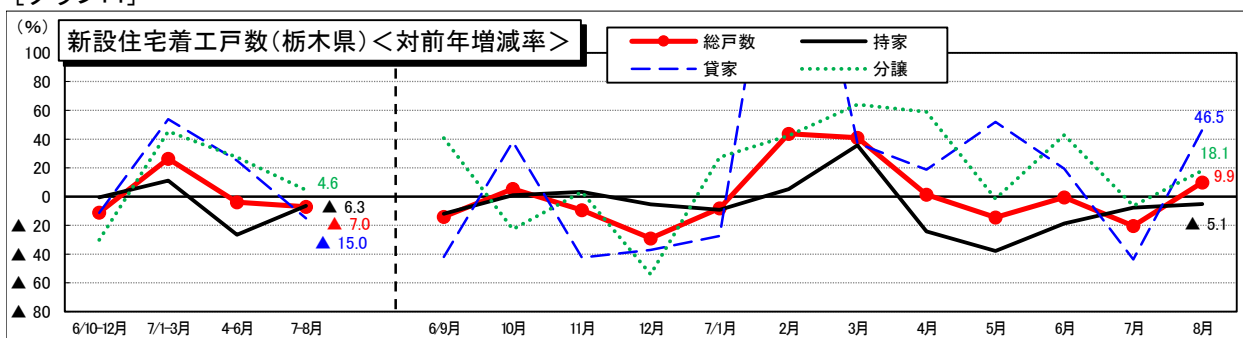
[グラフ13]



7. 住宅建設

前年を下回っている

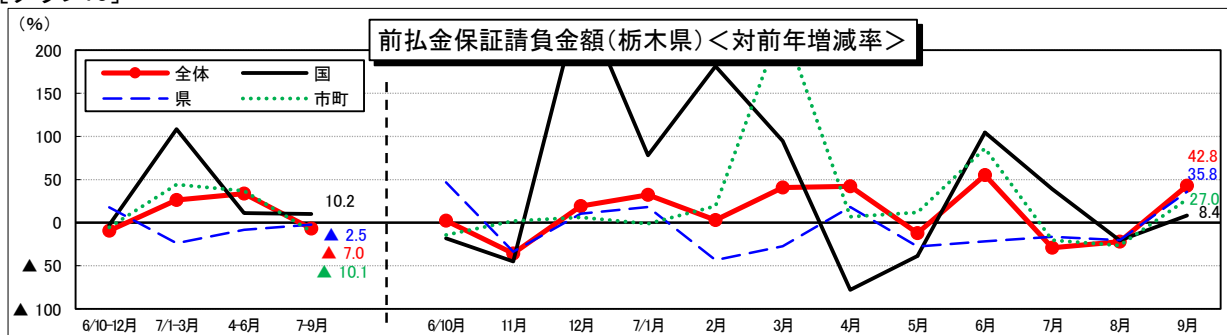
[グラフ14]



8. 公共事業

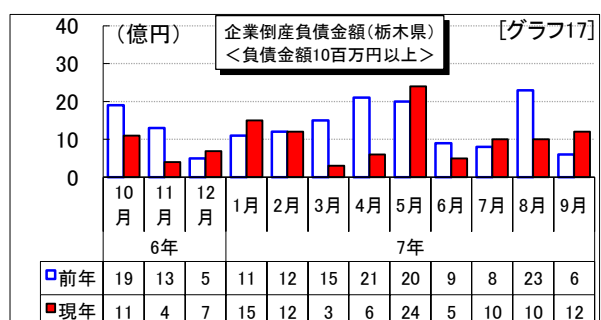
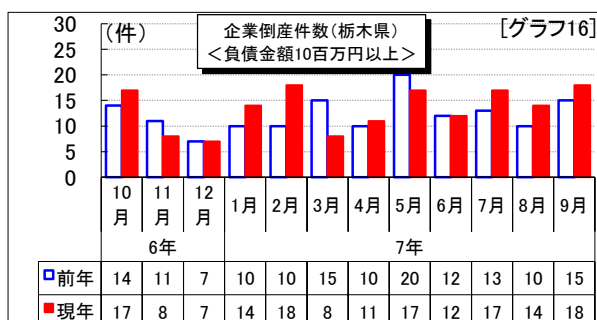
前年を下回っている

[グラフ15]



9. 企業倒産

倒産件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回っている



出典：「栃木県内企業倒産整理状況」(㈱東京商工リサーチ 宇都宮支店)を加工